

本書の見かた

目次

索引



準備する



基本的な使いかた



撮る



再生する



無線機能



その他の設定をする



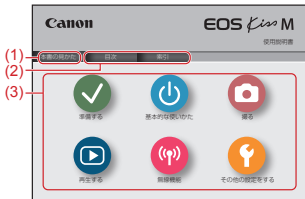
お使いになる前にお読みください



- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99% 以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。



本書の見かた トップページ



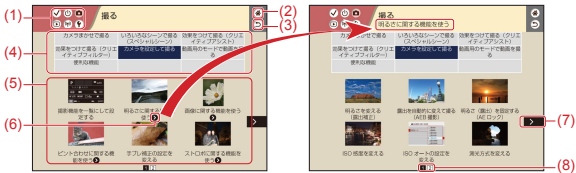
- (1) 本ページに移動します。
この使用説明書の見かたについて説明しています。
- (2) 目次ページ、索引ページに移動します。
- (3) 6つの項目をクリックすると、各項目の先頭ページに移動します。



本書の見かた ポータルページ



項目の入り口となるページをポータルページと呼びます。



- (1) それぞれの項目のアイコンを表示しています。
アイコンをクリックすると、その項目のポータルページに移動します。
- (2) 先頭ページに移動します。
- (3) ひとつ前に表示したページに戻ります。
- (4) 各項目内のカテゴリーを表示しています。
選択したカテゴリーに含まれている記載内容が (5) に表示されます。ポータルページによっては、このカテゴリーがないページもあります。





本書の見かた

ポータルページ



- (5) 選択したカテゴリーに含まれる記載内容を表示しています。見出しをクリックするとその本文ページに移動します。
- (6) 見出しに関する内容に、いくつかの小項目があるときに表示しています。
- (7) 次ページに続きがあるときに表示されます。
- (8) ポータルページが2ページ以上あるときに、現在表示しているページを確認できます。





本書の見かた

本文ページ



(1) それぞれの項目のアイコンを表示しています。

アイコンをクリックすると、その項目のポータルページに移動します。

(2) 先頭ページに移動します。

(3) ひとつ前に表示したページに戻ります。

(4) 前ページから続いているときに表示されます。

(5) 次ページに続きがあるときに表示されます。

(6) 図やイラストの中には、手順に沿った番号が記載されているものがあります。

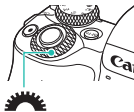


本書の見かた

文章中の記載



- 本書では、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って操作方法を説明しています。
- 次の操作部は、絵文字で示しています。



- 画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- レンズやマウントアダプターは、レンズキットに入っているか別売かにかかわらず、「レンズ」「マウントアダプター」と記載しています。
- 本文中のイラストは、EF-M15-45mm F3.5-6.3 IS STM レンズを付けた状態で説明しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。



目次



お使いになる前にお読みください

本書の見かた

目次

安全上のご注意

準備する

ストラップを付ける

バッテリーを充電する

カード（市販品）を準備する

バッテリーとカードを入れる／取り出す

日付／時刻／エリアを設定する

表示言語を設定する

レンズを取り付ける

レンズを取り外す

EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける

EF レンズ、EF-S レンズを取り外す

EF レンズ、EF-S レンズで三脚を使う

EF レンズ、EF-S レンズで手ブレ補正を使う

カメラを構える



目次



基本的な使いかた

- 使ってみる
- 各部のなまえ
- 電源の入れかた／切りかた
- シャッターボタンの押しかた
- ファインダーの使いかた
- 撮影モードの切り換えかた
- モニターの向きや角度の変えかた
- 撮影画面に表示される枠
- 撮影時の画面表示の切り換えかた
- 再生時の画面表示の切り換えかた
- クイック設定画面の表示と操作方法
- MENU（メニュー）の表示と操作方法
- 文字を入力する
- ランプの表示
- タッチ操作

撮る

- カメラまかせで撮る
- いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーン）



目次



- 効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
- 効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)
- カメラを設定して撮る
- 動画用のモードで動画を撮る
- 便利な機能

再生する

- 見る
- 探す
- 管理する
- 消す
- 静止画を編集する
- 好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
- RAW 画像をカメラで現像する
- 動画を編集する

無線機能

- 無線機能でできること
- 無線機能の準備をする
- Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する
- NFC 対応の Android スマートフォンと Wi-Fi 接続する
- Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



目次



その他の設定をする

- 画面の表示レベルを変更する
- フォルダを選択／作成する
- 画像番号を変える
- 縦位置画像回転表示
- カードを初期化する
- カードを物理フォーマット（初期化）する
- エコモードを使う
- 節電機能の設定を変える
- 表示言語を変える
- 画面の明るさを変える
- 赤目緩和機能を使う
- 撮影直後の画像表示時間を変える
- ビデオ方式を変える
- 撮影時の情報の表示内容を設定する
- 再生時の情報の表示内容を設定する
- 電子音を鳴らさない
- 操作したときに音を鳴らさない
- タッチパネルの設定を変える



目次



- 撮像素子のクリーニング機能を動作させる
- 撮像素子を手作業で清掃する
- カメラの設定を初期状態に戻す
- 画像に記録する著作権の情報を登録する
- 登録した著作権情報をまとめて消す
- 認証マークを確認する

索引

- 無線機能について
- 商標、ライセンスについて
- 修理対応期間について
- 本書について



安全上のご注意



安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。

ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。

アクセサリシューキャップを飲み込むと危険です。飲み込んだ場合は、すぐ医師に相談してください。

- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。

感電、破裂、火災の原因となります。





安全上のご注意



- ファインダーがある製品では、ファインダーで強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）を見ない。

視力障害の原因となります。

- **バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。**
 - 指定外の製品で使わない。
 - 熱したり、火中投入しない。
 - 指定外の製品で充電しない。
 - 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
 - 液漏れしたものは使わない。
 - 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

感電、破裂、火災の原因となります。

液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗ったあと、すぐ医師に相談してください。

- **バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。**
 - 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
 - むれた手で電源プラグを抜き差ししない。
 - 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
 - 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。





安全上のご注意



- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。

目をいためる恐れがあります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。



安全上のご注意



- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。
けがやカメラの故障の原因となります。
- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。
やけどや故障の原因となります。
- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。
製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。
撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。
- 砂浜や風の強い場所で使用するときには、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。
- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。
そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。
- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。
液漏れにより故障の原因となることがあります。
- バッテリーや電池を廃却するときには、接点にテープを貼るなどして絶縁する。
他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。



安全上のご注意



- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

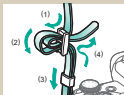
- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。故障の原因となることがあります。

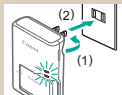




準備する



ストラップを付ける



バッテリーを充電する



カード（市販品）を準備する



バッテリーとカードを入れる／取り出す



日付／時刻／エリアを設定する



表示言語を設定する



レンズを取り付ける



レンズを取り外す



EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける





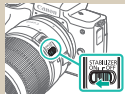
準備する



EF レンズ、EF-S レンズ
を取り外す



EF レンズ、EF-S レンズ
で三脚を使う



EF レンズ、EF-S レンズ
で手ブレ補正を使う

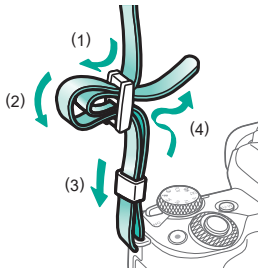


カメラを構える





ストラップを付ける



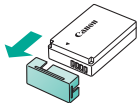


バッテリーを充電する



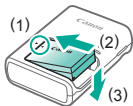
1

バッテリーのカバーを外す



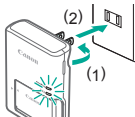
2

バッテリーを付ける



3

充電する



- 充電中：オレンジ
- 充電完了：緑色



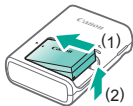


バッテリーを充電する



4

バッテリーを外す





カード（市販品）を準備する



次のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD（エスディー）メモリーカード^{*1}
- SDHC（エスディーエイチシー）メモリーカード^{*1*2}
- SDXC（エスディーエックスシー）メモリーカード^{*1*2}



*1 SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*2 UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

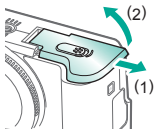


バッテリーとカードを入れる／取り出す



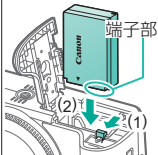
1

カード／バッテリー
収納部ふた
を開ける

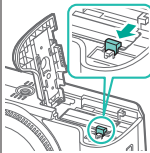


2

バッテリーを入
れるとき

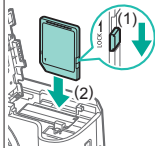


バッテリーを取
り出すとき



3

カードを入
れる
とき

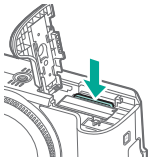




バッテリーとカードを入れる／取り出す

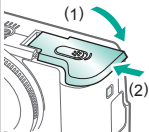


カードを取り出すとき



4

カード／バッテリー収納部ふたを閉める



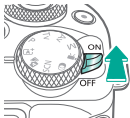


日付／時刻／エリアを設定する



1

電源を入れる



2

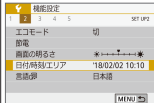
メニューを表示する



● MENUボタン



● ◀▶ボタンで
[🔧]を選ぶ→Ⓜ️
ボタン



● [🔧 2] →▲/▼
ボタン→ [日付
/時刻/エリア]
→Ⓜ️ボタン





日付／時刻／エリアを設定する



3

エリアを設定する



- ◀/▶ ボタンで項目を選ぶ → (SET) ボタン



- (SET) ボタン



- ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ → (SET) ボタン → ◀/▶ ボタンで [OK] を選ぶ → (SET) ボタン

4

日付／時刻を設定する



- ◀/▶ ボタンで項目を選ぶ → (SET) ボタン → ▲/▼ ボタンで設定する → (SET) ボタン





日付／時刻／エリアを設定する



日付/時刻エリア

(2018/02/02)

2018 . 02 . 02 10 : 10 : 00

年/月/日

📍 ロンドン

◀ ▶ OK キャンセル

- ◀▶ ボタンで [OK] を選ぶ
- (SET) ボタン





表示言語を設定する



1

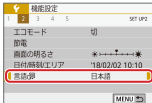
メニューを表示する



● MENUボタン



● ◀▶ボタンで
[🔑] を選ぶ → [SET] ボタン



● [🔑2] → ▲/▼
ボタン → [言語
🗨️]

2

言語を設定する



● ▲/▼ボタンで
項目を選ぶ。

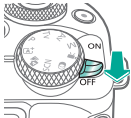


レンズを取り付ける



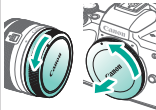
1

電源を切る



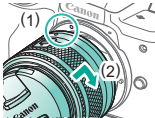
2

レンズとカメラ
のキャップを外す



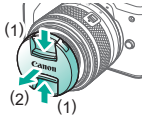
3

レンズを付ける



4

レンズキャップ
を外す



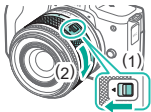


レンズを取り付ける



5

撮影の準備をする



- (1) を押したまま、(2) を少し回し、(1) を放す。
- 「カチッ」と音がするまで、さらに(2) を回す。



- ピント合わせの前にズーム操作を行う。



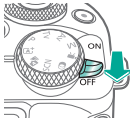


レンズを取り外す



1

電源を切る



2

レンズを外す



- (1) を押したまま、レンズを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

3

レンズとカメラのキャップを付ける



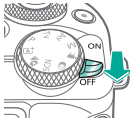


EF レンズ、EF-S レンズを取り付ける



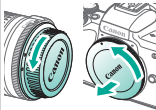
1

電源を切る



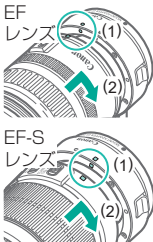
2

レンズとカメラのキャップを外す



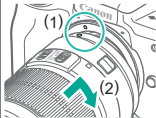
3

アダプター（別売）にレンズを付ける



4

カメラにアダプターを付ける



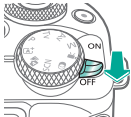


EF レンズ、EF-S レンズを取り外す



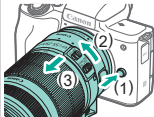
1

電源を切る



2

アダプターを外す



- (1) を押したまま、アダプターを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

3

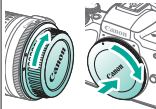
レンズを外す



- (1) をスライドしながら、レンズを (2) の方向に回転が止まるまで回す。
- (3) の方向に外す。

4

レンズとカメラのキャップを付ける



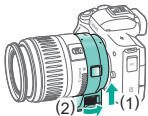


EF レンズ、EF-S レンズで三脚を使う



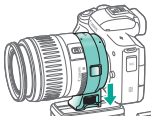
1

三脚座をアダプターに付ける



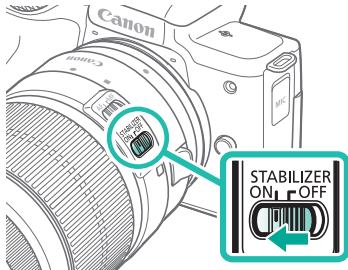
2

三脚座のねじ穴
に三脚を付ける



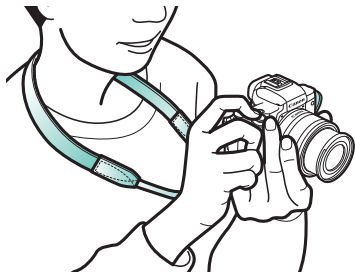


EF レンズ、EF-S レンズで手ブレ補正 を使う





カメラを構える





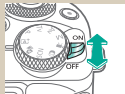
基本的な使いかた



使ってみる▶



各部のなまえ



電源の入れかた／切りかた



シャッターボタンの押しかた



ファインダーの使いかた



撮影モードの切り換えかた



モニターの向きや角度の換えかた



撮影画面に表示される枠



撮影時の画面表示の切り換えかた





基本的な使いかた



再生時の画面表示の切り換えかた



文字を入力する



クイック設定画面の表示と操作方法



ランプの表示



MENU (メニュー) の表示と操作方法



タッチ操作



基本的な使いかた 使ってみる



静止画を撮る (シーンインテリジェントオート)



動画を撮る (シーンインテリジェントオート)



静止画を見る



動画を見る



消す



使ってみる

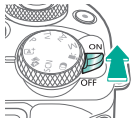
静止画を撮る (シーンインテリジェントオート)



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

1

電源を入れる



2

目的のモードにする



- 撮影モードを選ぶ → ボタン



- (1) シーンアイコン
- (2) 撮影可能枚数
- (3) 撮影可能時間





使ってみる

静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

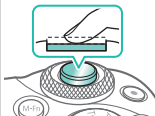
3

撮りたいものの大きさを決める



4

ピントを合わせる



- シャッターボタンを浅く押す。

- ピントが合うと、電子音が「ピピッ」と2回鳴ります。





使ってみる

静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

5

必要に応じてストロボを上げる



- ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。

6

撮影する



- 撮影すると、撮影した画像が約 2 秒間表示されます。



使ってみる

静止画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

-
- 画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを押すと次の撮影ができます。





使ってみる

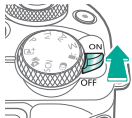
動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

1

電源を入れる



2

目的のモードにする



- 撮影モードを選ぶ →  ボタン



- (1) シーンアイコン
- (2) 撮影可能枚数
- (3) 撮影可能時間





使ってみる

動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

3

撮りたいものの大きさを決める



4

撮影をはじめめる



- 人の顔が検出されているときは、枠が表示されてピントが合います。



使ってみる

動画を撮る（シーンインテリジェントオート）



- カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。
- 人の顔や被写体が検出されると、枠が表示されてピントを合わせます。

5

撮影を終える





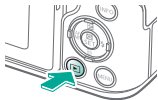
使ってみる

静止画を見る



1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



- ◀ ボタン：前の画像
- ▶ ボタン：次の画像



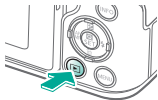
使ってみる

動画を見る



1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



- ◀ ボタン：前の画像
- ▶ ボタン：次の画像

3

動画を再生する



- ▲ ボタン：動画再生パネルを表示
- 動画は、
[▶] が表示されます。





使ってみる
動画を見る



4

音量を調整する



● ◀▶ ボタンで
▶▶





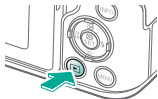
使ってみる

消す



1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



- ◀ ボタン：前の画像
- ▶ ボタン：次の画像

3

消す

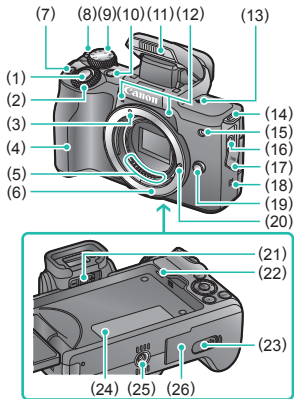


- ◀▶ ボタンで [消去]



各部のなまえ

前面



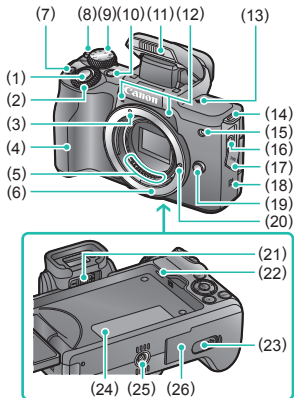
No.	なまえ	本書の表記
(1)	シャッターボタン	
(2)	電子ダイヤル	
(3)	EF-M レンズ取り付け指標	
(4)	グリップ	
(5)	接点	
(6)	レンズマウント	
(7)	動画ボタン	
(8)	電源スイッチ	
(9)	モードダイヤル	





各部のなまえ

前面



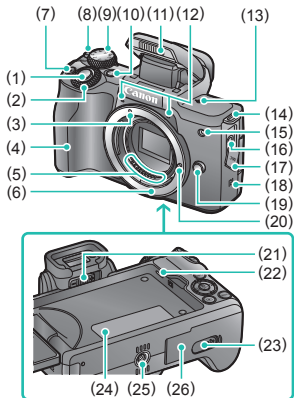
No.	なまえ	本書の表記
(10)	マルチファンクションボタン	M-Fn
(11)	ストロボ	
(12)	マイク	
(13)	撮像面マーク	
(14)	ストラップ取り付け部	
(15)	ランプ (前面)	
(16)	外部マイク入力端子	
(17)	端子カバー	
(18)	N マーク	





各部のなまえ

前面



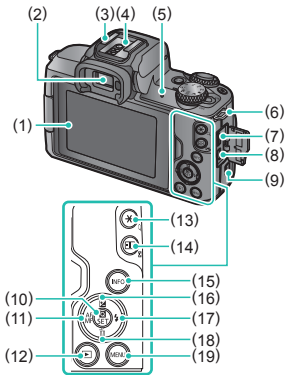
No.	なまえ	本書の表記
(19)	レンズロック解除ボタン	
(20)	レンズロックピン	
(21)	視度調整つまみ	
(22)	スピーカー	
(23)	DC カプラー端子 カバー	
(24)	シリアル番号 (機番)	
(25)	三脚ねじ穴	
(26)	カード/バッテリー 収納部ふた	





各部のなまえ

背面

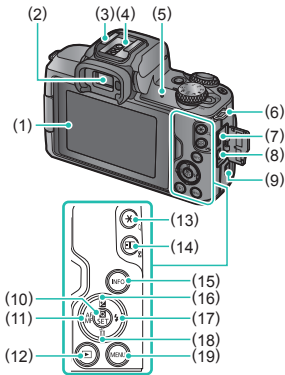


No.	なまえ	本書の表記
(1)	モニター／タッチパネル	
(2)	ファインダー	
(3)	アクセサリースュー	
(4)	シンクロ接点	
(5)	ランプ (背面)	
(6)	ストラップ取り付け部	
(7)	デジタル端子	
(8)	HDMI™ 端子	
(9)	Wi-Fi ボタン	(Wi-Fi)





各部のなまえ 背面



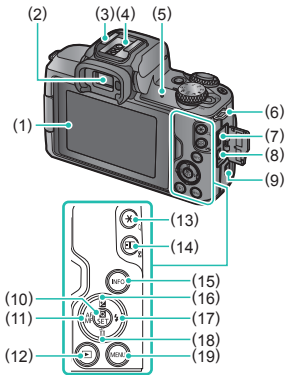
No.	なまえ	本書の表記
(10)	クイック設定／設定ボタン	
(11)	オートフォーカス、マニュアルフォーカス／左ボタン	
(12)	再生ボタン	
(13)	AE ロックボタン 再生時：拡大	
(14)	AF フレーム選択ボタン 再生時：インデックス	
(15)	インフォメーションボタン	INFO
(16)	露出補正／上ボタン	





各部のなまえ

背面

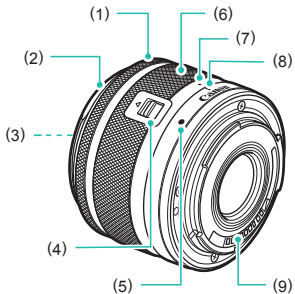


No.	なまえ	本書の表記
(17)	ストロボ／右ボタン	▶
(18)	1 画像消去／下ボタン	▼
(19)	メニューボタン	MENU





各部のなまえ レンズ

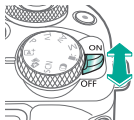


No.	なまえ
(1)	フォーカスリング
(2)	フード取り付け部
(3)	フィルター取り付けねじ部
(4)	レンズ収納スイッチ
(5)	レンズ取り付け指標
(6)	ズームリング
(7)	レンズ収納位置指標
(8)	ズーム指標
(9)	接点





電源の入れかた／切りかた



- 電源を入れる：
[ON]
- 電源を切る：
[OFF]

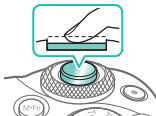


シャッターボタンの押しかた



1

半押し（浅く押し
てピントを合
わせる）



- 電子音が「ピッピッ」と2回鳴ります。

2

全押し（そのま
ま深く押し
て撮影する）



- 撮影されます。



ファインダーの使いかた



1

表示を切り換
える

- ファインダーを使うときは、ファインダーに目を近づけて表示させてください。

2

視度を調整する



- モニターを開いた状態で調整します。



撮影モードの切り換えかた



撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



No.	モード	機能	本書の表記
(1)	シーンインテリジェントオートモード／プラスムービーオートモード	カメラまかせの全自動撮影ができます。	
(2)	スペシャルシーンモード	撮影シーンに最適な撮影ができます。	SCN
(3)	クリエイティブフィルターモード	いろいろな効果をつけた撮影ができます。	





撮影モードの切り換えかた



撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。

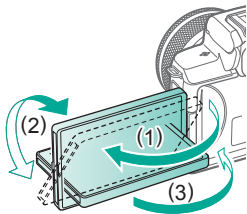


No.	モード	機能	本書の表記
(4)	動画撮影モード	動画が撮影できます。	
(5)	P、Tv、Av、Mモード	各種機能を設定して、さまざまな撮影ができます。	P/Tv/ Av/M





モニターの向きや角度の換えかた



- (1) の方向に約 180° まで開くことができます。
- (2) の方向に約 180° まで回転できます。
- (3) モニターを表向きにして閉じます。



撮影画面に表示される枠



白の枠



- 主被写体と検出した顔やものに表示されます。

緑の枠



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに表示されます。

青の枠



- 動いている被写体にピントを合わせ続けているときに表示されます。シャッターボタンを半押ししている間、表示されます。

オレンジ色の枠



- シャッターボタンを半押しして、ピントが合わないときに表示されます。



撮影時の画面表示の切り換えかた



撮影情報 1



撮影情報 2



ヒストグラム



情報表示なし



撮影機能画面

1

表示を切り換
える





再生時の画面表示の切り換えかた



情報表示なし



情報表示 1
(簡易情報表示)



情報表示 2
(詳細情報表示)



情報表示 3
(詳細情報表示)

1

表示を切り換える





クイック設定画面の表示と操作方法



1

設定画面を表示する



- (1) 設定項目
- (2) 設定内容

2

設定項目を選ぶ



3

設定内容を選ぶ







クイック設定画面の表示と操作方法



- [**INFO**] が表示される項目では、**INFO**ボタンを押して設定する。
- [**AF MF**] が表示される項目では、**AF MF**ボタンを押して設定する。

- [] が表示される項目では、 ダイアルを回して設定する。

4

設定を終える



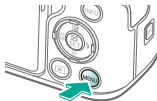


MENU (メニュー) の表示と操作方法 ([カメラ] の [メニュー表示] [やさしい] 設定時)



1

メニューを表示
する



2

メインタブを選
ぶ





MENU (メニュー) の表示と操作方法 ([カメラ] の [メニュー表示] [やさしい] 設定時)



- (1) メインタブ
- (2) サブタブ
- (3) 設定項目
- (4) 設定内容

3 サブタブを選ぶ



4 設定項目を選ぶ



- 設定項目によっては、**SET** ボタンを押して画面を切り換えたあと、さらに▲か▼を押して項目を選ぶ。





MENU (メニュー) の表示と操作方法 ([カメラ] の [メニュー表示] [やさしい] 設定時)



5

設定内容を選ぶ



6

設定を終える



7

撮影画面に戻る



- **MENU**ボタンを押すと手順2の画面に戻り、もう一度押すと撮影画面に戻ります。

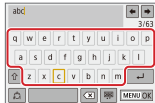




文字を入力する



文字を入力する
とき



- 文字をタッチして
入力する。

入力位置を移動
するとき



- [←] か [→] を
タッチする。

文字の種類を変
えるとき



- [⇧] : 大文字に
切り換え
- [⇩] : 数字や記
号などに切り換
え

文字を消すとき



- [✕] をタッチす
る。






文字を入力する




キーボードの種類を変えるとき



-  をタッチする。

改行するとき



-  をタッチする。

確定するとき



- **[MENU]** をタッチしたあと **[OK]** をタッチする。

元の画面に戻るとき

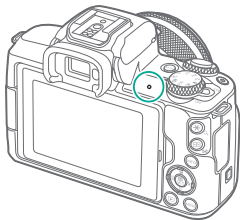




ランプの表示



背面のランプは、カメラの状態に連動して点滅状態が変わります。



色	状態	操作状況
緑	点灯	● 静止画撮影時のカードへの記録／読み出し中
	ゆっくりと点滅	● パソコン接続時 ● 画面消灯時（ディスプレイオフ）
	点滅	● 動画撮影時のカードへの記録／読み出し中 ● Wi-Fi データ送受信時



基本的な使いかた

タッチ操作



クイック設定画面



MENU (メニュー)



見る



タッチ操作

クイック設定画面

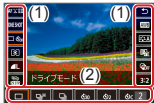


設定画面を表示するとき



- **[Q]** をタッチする。

設定するとき



- 設定項目 (1)、設定内容 (2) の順にタッチする。

画面を切り替えるとき



- **[INFO]** が表示される項目では **[INFO]** をタッチする。
- **[MENU]** が表示される項目では **[MENU]** をタッチする。

- **[INFO]** が表示される項目では **[INFO]** をタッチする。





タッチ操作 クイック設定画面



元の画面に戻るとき



- [←] をタッチする。

バーの位置を調整するとき



- バーをタッチまたはドラッグする。





タッチ操作

MENU (メニュー)



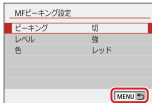
設定するとき



(3)

- メインタブ (1) → サブタブ (2) → 設定項目 (3) → 設定内容 (4) の順にタッチする。

前の画面に戻る
とき



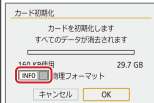
- **[MENU]** をタッチする。

チェックをつけ
る／外すとき



- チェックボックスをタッチする。

INFOボタンと
同じ操作をする
とき



- **[INFO]** をタッチする。





タッチ操作

MENU (メニュー)

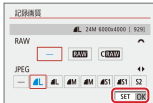


MENUボタンと
同じ操作をする
とき



- **[MENU]** をタッチする。

SETボタンと同じ
操作をするとき



- **[SET]** をタッチする。





タッチ操作 見る



1枚ずつ見ると
き



- 次の画像：左にドラッグ
- 前の画像：右にドラッグ

動画を再生する
とき



- 再生：[▶] をタッチ

再生中の動画を
操作するとき



- 停止：画面をタッチ
- 再開：[▶] をタッチ
- 音量を調整：
[🔊] をタッチ

1枚表示から一
覧表示にすると
き





タッチ操作 見る



表示する画像の
数を減らすとき



画像を拡大する
とき



- 素早く 2 回タッチする。

拡大した画像を
縮小するとき



- 元の大きさに戻すとき：[↶] をタッチ





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



静止画を撮る (シーンインテリジェントオート)



動画を撮る (シーンインテリジェントオート)



プラスムービーオートモードで撮る



プラスムービーオートモードで撮る





静止画を撮影するだけで、静止画が記録されると同時に撮影直前の約2～4秒のシーンも動画として記録されます。1日をまとめた短編動画（ダイジェスト動画）ができます。

1

撮影モードを選ぶ



●  モード →  ボタン

2

構図を決めて、撮影する






撮る




カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



 自分撮り



 ポートレート




 美肌




 風景



 スポーツ



 クローズアップ





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



料理



流し撮り



手持ち夜景



HDR 逆光補正




サイレントモード



いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーン）



 ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせ、肌や髪の毛がやわらかな感じで撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



● **SCN**モード →  ボタン



● ▲ / ▼ ボタン →
[] →  ボタン

2


撮影する





いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーン）



 自分撮り

自分撮りをするとき、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果を加えるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。



 美肌

画像処理によって肌がなめらかに見えるような効果を加えることができます。



 風景


広がりのある風景などを、近くから遠くまでピントを合わせて、空や緑を鮮やかに撮影できます。






いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーン）



 スポーツ

動きのある被写体にピントを合わせながら連続撮影ができます。



 クローズアップ

花や小物などに近づいて撮影するのに適しています。



 料理


料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。





いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーン）



 手持ち夜景


夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。



 HDR 逆光補正

明るさの異なる 3 枚の画像を連続撮影し、明るさが適切な部分を合成して 1 枚の画像にします。明るいところと暗いところが混在する風景などで、白トビや黒ツブレをおさえることができます。



 サイレントモード

静かな場所で、シャッター音などの電子音を鳴らさずに撮影することができます。






背景が流れるような写真を撮る



 流し撮り

被写体の背景が流れるようなスピード感のある写真を撮影できます。

 モードの対応レンズを使うと、被写体ブレを軽減することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- SCNモード →  ボタン



- ▲ / ▼ ボタン →  →  ボタン

2

撮影する



- 撮影前から被写体を追いかけるように、シャッターボタンを半押ししながらカメラを動かす。






背景が流れるような写真を撮る



 流し撮り

被写体の背景が流れるようなスピード感のある写真を撮影できます。

 モードの対応レンズを使うと、被写体ブレを軽減することができます。



- 動いている被写体を画面に表示している枠にとらえながら、シャッターボタンを全押しする。
- シャッターボタンを全押ししたあとも被写体を追いつけるようにカメラを動かす。



撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



好みの効果で撮る



好みの効果で撮る



A+モードのときに、背景をぼかしたり明るさを変えたりして、自分好みの効果で写真を撮ることができます。
カメラに登録されているプリセットから選ぶと、かたんに設定できます。

1

撮影モードを選ぶ



● **A+**モード → **SET** ボタン

2

設定画面を表示する



● ◀▶ ボタン → **SET** ボタン

3

項目を選ぶ



● ◀▶ ボタン → **SET** ボタン





好みの効果で撮る



A+モードのときに、背景をぼかしたり明るさを変えたりして、自分好みの効果で写真を撮ることができます。
カメラに登録されているプリセットから選ぶと、かんたんに設定できます。

4

撮影する






撮る




カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



 ラフモノクロ



 ソフトフォーカス




 魚眼風




 水彩風



 トイカメラ風



 ジオラマ風





撮る




カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



 HDR 絵画調標準




 HDR グラフィック調



 HDR 油彩調



 HDR ビンテージ調



効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）





 ラフモノクロ

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



●  モード →  ボタン



● ▲ / ▼ ボタン →
[] →  ボタン

2

効果の強さを選ぶ





効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）



📷 ラフモノクロ

ざらついた感じのモノクロ画像を撮影できます。

3

撮影する


- ▲ / ▼ ボタン
→ [フィルター
効果の強さ]
- ◀ / ▶ ボタン
- (SET) ボタン





効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）



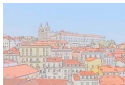
 ソフトフォーカス

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の写真撮影ができます。



 魚眼風

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影できます。



 水彩風

水彩画のようなやわらかな感じの色で画像を撮影できます。






効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）



 トイカメラ風


画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。



 HDR 絵画調
標準

コントラストをおさえたフラットな階調で、絵画のような効果をつけて撮影できます。



 HDR グラ
フィック調

鮮やかなグラフィックアートのような効果をつけて撮影できます。






効果をつけて撮る（クリエイティブフィルター）



 HDR 油彩調

輪郭を強調し、鮮やかな油絵のような効果をつけて撮影できます。



 HDR ビンテージ調


輪郭を強調し、暗い感じにすることで、色あせた古い写真のような効果をつけて撮影できます。





クリエイティブフィルターを使って撮る (ジオラマ風)





 ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



●  モード →  ボタン



● ▲/▼ ボタン →
[] →  ボタン

2


ピントの合う位置とぼかさな
い範囲を指定する





クリエイティブフィルターを使って撮る (ジオラマ風)

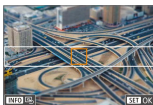


 ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。



- 枠の移動：
 ボタン
→▲/▼ボタン




- AF フレームの
移動： ボタン
→▲/▼/◀/▶
ボタン





クリエイティブフィルターを使って撮る (ジオラマ風)



 ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。

3

撮影画面に戻る



4

撮影する





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



撮影機能を一覧にして設定する



ピント合わせに関する機能を使う



明るさに関する機能を使う



手ブレ補正の設定を変える



画像に関する機能を使う



ストロボに関する機能を使う



撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



シャッタースピードや絞りを決めて撮る ▶



カメラをカスタマイズする ▶



撮影機能を一覧にして設定する




撮影機能画面を使うと、撮影機能を一覧にして素早くいろいろな機能を設定することができます。

1

撮影モードを選ぶ




- Pモード →  ボタン

2

撮影機能画面を表示する



-  ボタンを何度か押す。

3

機能を選ぶ



-  ボタン





撮影機能を一覧にして設定する



撮影機能画面を使うと、撮影機能を一覧にして素早くいろいろな機能を設定することができます。

4

設定する



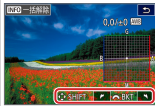
● ◀▶ ボタン/
ダイヤル



● ◀▶ ボタン/
INFOボタン



● ◀▶ ボタン/
☐ボタン



● ▲▼/◀▶ ボタン/
ダイヤル



撮る

明るさに関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



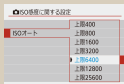
明るさを変える
(露出補正)



ISO 感度を変える



露出を自動的に変えて撮る
(AEB 撮影)



ISO オートの設定を
変える



明るさ (露出) を固定する
(AE ロック)



測光方式を変える



撮る

明るさに関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



明るさ・コントラストを自動補正する
(オートライティングオプティマイザ)



明るい被写体を撮影する
(高輝度側・階調優先)



露出 Simulation 機能を使わないようにする



明るさを変える（露出補正）



マイナス側に補正



± 0



プラス側に補正

標準的な露出を 1/3 段ずつ、- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。

1

撮影モードを選ぶ



● Pモード → ボタン

2

設定する



● ダイヤル

3

構図を決めて撮影する





露出を自動的に変えて撮る (AEB 撮影)



マイナス補正



プラス補正

自動的に露出を変えながら、3枚撮影できます。補正量は露出補正值を中心に1/3段ずつ、-2段から+2段の範囲で設定できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ 2] → [露出補正/AEB設定]
- 露出補正：◀▶ ボタン
- AEB設定：⚙️



明るさ（露出）を固定する（AE ロック）



AE ロックなし



AE ロック

露出を固定して撮影したり、ピントと露出を個別に設定して撮影することもできます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

露出を固定する



- **[*]** が表示され、露出が固定されます。

3

構図を決めて撮影する





ISO 感度を変える



低い




高い

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されますが、撮影の目的に応じて ISO 感度を変えることができます。大きい数値は ISO 感度が高く、小さい数値は ISO 感度が低くなります。

1

撮影モードを選ぶ



● **P**モード →  ボタン

2

ISO 感度の設定バーを表示する



● **[ISO AUTO]** をタッチする。

3

設定する



●   ボタン



ISO オートの設定を変える



上限が低い



上限が高い

オートにしたときに自動設定される ISO 感度の上限を選ぶことができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ 2] → [ISO 感度に関する設定] → [ISO オート] → 項目を選ぶ



測光方式を変える



明るさを測る特性を変えられます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- [Q] → 内容を選ぶ



明るさ・コントラストを自動補正する (オートライティングオプティマイザ)



Off
しない



弱め



標準



強め

1

撮影モードを選ぶ



● Pモード → SET ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



● [人] → 内容を選ぶ



明るい被写体を撮影する（高輝度側・階調優先）



高輝度（明るい）側の階調表現性を向上させることで、明るい被写体の白トビをおさえることができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → → ボタン

3

設定する



- [2] → [高輝度側・階調優先] → 内容を選ぶ



露出 Simulation 機能を使わないように する



撮影される画像に近い明るさで画面に表示されます。そのため、露出補正を行ったときも連動して画面の明るさも変わります。この機能を使わないことで、露出補正によらず撮影しやすい明るさで表示することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [CAMERA] → [SET] ボタン

3

設定する



- [CAMERA 3] → [露出 Simulation] → [しない]



撮る

画像に関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



好みの色あいを選ぶ (ピクチャースタイル)



自然な色あいにする (ホワイトバランス)



ピクチャースタイルを自分の好みに調整する



マニュアルホワイトバランス



好みのピクチャースタイルを登録する



ホワイトバランスを補正する





撮る

画像に関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ホワイトバランスの色温度を設定する



レンズの光学特性による影響を補正する



高感度撮影時のノイズを低減する



マルチショットノイズ低減機能を使う



シャッタースピードが遅いときのノイズを低減する



好みの色あいを選ぶ（ピクチャースタイル）



スタンダード



風景

撮影シーンや被写体にあわせて、好みの色あいを選べます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- → 内容を選ぶ



ピクチャースタイルを自分の好みに調整する



好みにあわせて、ピクチャースタイルのコントラストや色の濃さなどを調整できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- → 内容を選ぶ → INFO ボタン





ピクチャースタイルを自分の好みに調整する



好みにあわせて、ピクチャースタイルのコントラストや色の濃さなどを調整できます。

- 項目を選ぶ：
▲／▼ボタン
- 調整する：
◀／▶ボタン





好みのピクチャースタイルを登録する



などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する





- → 登録先を選ぶ → **INFO** ボタン





好みのピクチャースタイルを登録する



  などの基本スタイルを好みにあわせて調整して、登録できます。シャープネスやコントラストなどの設定が異なる、複数のスタイルを準備できます。

- 項目を選ぶ：
▲／▼ボタン
- 調整する：
◀／▶ボタン





自然な色あいにする (ホワイトバランス)



太陽光



くもり



白熱電球

ホワイトバランス (WB) は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- **[AWB]** → 内容を選ぶ



マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

白い被写体を撮影する



- 画面全部を白い無地の被写体にする。



- ピントを合わせて撮影する。

3

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → → ボタン





マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

4

白データを取り込む



- [カメラ 4] → [MWB 画像選択]



- 手順 2 で撮影した画像を選ぶ →
[SET] ボタン → [OK]
→ [SET] ボタン

5

撮影画面に戻る





マニュアルホワイトバランス



白を取り込む

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源の下で設定してください。

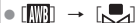
6

設定画面を表示する



7

設定する





ホワイトバランスを補正する



太陽光で撮影




補正後

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード →  ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- **[AWB]** → 内容を選ぶ → **INFO** ボタン





ホワイトバランスを補正する



太陽光で撮影



補正後

ホワイトバランスを手動で補正することができます。この機能を使うと、市販の色温度変換フィルターや色補正用フィルターと同じような効果を得ることができます。

- 補正する：

▲/▼/◀/▶ポ
タン→MENUポ
タン





ホワイトバランスの色温度を設定する



ホワイトバランスの色温度を数値で設定することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- **[AWB]** →
[K 5200]
→ ボタン



- 色温度を選ぶ：
 ボタン
→ **MENU** ボタン



レンズの光学特性による影響を補正する



「周辺光量補正：しない」の例



「周辺光量補正：する」の例

レンズの特性によって起こるいろいろな現象を補正することができます。

1

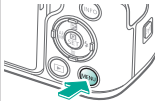
撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → → ボタン

3

設定する



- [1] → [レンズ光学補正]



- のない項目を選ぶ





レンズの光学特性による影響を補正する



「周辺光量補正：しない」の例



「周辺光量補正：する」の例

レンズの特性によって起こるいろいろな現象を補正することができます。





高感度撮影時のノイズを低減する



ノイズ低減の強さを [弱め] [標準] [強め] の3種類から選べます。特に高いISO感度で撮影するときには有効です。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [CAMERA] → [SET] ボタン

3

設定する



- [CAMERA 5] → [高感度撮影時のノイズ低減] → 内容を選ぶ



マルチショットノイズ低減機能を使う



1 回の撮影で 4 枚連続撮影して自動的に画像合成を行うことで、ノイズを低減することができます。[高感度撮影時のノイズ低減] の [強め] と比べ、画質の低下をおさえながらノイズを低減することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → → ボタン

3

設定する



- [5] → [高感度撮影時のノイズ低減] →



シャッタースピードが遅いときのノイズを低減する



シャッタースピードが1秒またはそれより遅いときに、長秒時露光で発生するノイズを低減できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ 5] → [長秒時露光のノイズ低減] → 内容を選ぶ



撮る

ピント合わせに関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



マニュアルフォーカスで撮る



ピントを微調整する



ピント合わせをしやすい表示にする (MFピーキング)



AF 方式を選ぶ



拡大表示にしてピントを確認する



被写体の目にピントを合わせて撮る





撮る

ピント合わせに関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



サーボ AF で撮る



フォーカス設定を切り換える



タッチして被写体を選ぶ





マニュアルフォーカスで撮る




オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

1

撮影モードを選ぶ



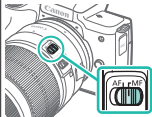
● Pモード →  ボタン

2

[MF] を選ぶ



- EF-M レンズ：
◀ ボタン → [マニュアルフォーカス]





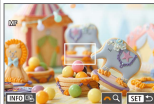
マニュアルフォーカスで撮る



オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

3

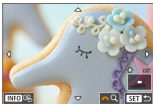
拡大表示する



-  ボタン
→  ダイアル

4

ピントを合わせたい部分を表示する



-  /  /  /  ボタン
- 表示を画面中央に戻す：**INFO** ボタン

- EF-M 以外のレンズ：スイッチを MF 側にする。



マニュアルフォーカスで撮る



オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

5

ピントを合わせる



6

撮影する





ピントを微調整する



オートフォーカス



フォーカスリング

この機能に対応しているレンズを付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

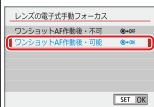
メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [レンズの電子式手動フォーカス] → [ワンショットAF作動後・可能]





ピントを微調整する



オートフォーカス

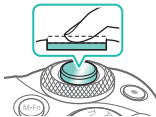


フォーカスリング

この機能に対応しているレンズを付けているときは、オートフォーカスのあとに、レンズのフォーカスリングを使ってピントを微調整することができます。

4

ピントを合わせる



- シャッターボタンを半押ししたままにする。

5

撮影する





ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)



MF ピーキング切



MF ピーキング入

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすいことができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENU ボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [MF ピーキング設定] → [ピーキング] で [入] を選ぶ





ピント合わせをしやすい表示にする (MF ピーキング)

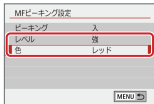


MF ピーキング切



MF ピーキング入

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをしやすいことができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。



- 項目を選ぶ



AF 方式を選ぶ



追尾優先 AF



ゾーン AF



1点 AF

撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えられます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- [AF □] → 内容を選ぶ



拡大表示にしてピントを確認する




AF方式で「AF〔 〕」か「AF□」を選んだときは、画面を拡大表示にしてピントを確認できます。

1

撮影モードを選ぶ



● Pモード →  ボタン

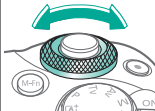
2

拡大表示する



3

倍率を決める





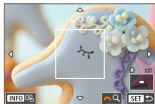
拡大表示にしてピントを確認する



AF方式で「AF〔 〕」か「AF □」を選んだときは、画面を拡大表示にしてピントを確認できます。

4

ピントを合わせたい部分を選ぶ



- ▲/▼/◀/▶ボタンを押してピントを合わせたい部分を表示する。
- 表示を画面中央に戻すときは **INFO** ボタンを押す。



被写体の目にピントを合わせて撮る



顔をアップで撮るとき、目にピントが合うように撮影することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [瞳 AF] → [する]

4

被写体にカメラを向ける





被写体の目にピントを合わせて撮る



顔をアップで撮るとき、目にピントが合うように撮影することができます。

5

撮影する





サーボ AF で撮る




シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを見逃さずに撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



● **P**モード →  ボタン

2

設定画面を表示する



3

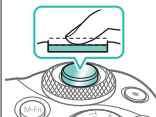
設定する



● **[ONE SHOT]** → **[SERVO]**

4

ピントを合わせる





サーボ AF で撮る



シャッターボタンを半押ししている間は被写体にピントと露出を合わせ続けるため、動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

5

撮影する





フォーカス設定を切り換える



する：動いている
人やものに



しない：動かない
ものに

通常は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせます。設定を変えると、シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせるようにすることができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → [CAMERA] → [SET] ボタン

3

設定する



- [CAMERA] 6 → [コンティニュアスAF] → [しない]



タッチして被写体を選ぶ



AF □



AF 😊

画面上で人の顔などをタッチして被写体を選ぶことができます。

1

被写体を選ぶ



2

撮影する





手ブレ補正の設定を変える



入



切

手ブレ補正機能のある EF-M レンズを付けているときは、MENU で手ブレ補正を設定できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENU ボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [手ブレ補正設定] → [手ブレ補正] → 項目を選ぶ



撮る

ストロボに関する機能を使う



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



ストロボモードを変える



ストロボの調光量を補正する



FE ロックで撮る



ストロボ発光のタイミングを変える



調光方式を変える



ストロボの発光量を設定する



ストロボモードを変える



撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。

1

ストロボモード
を選ぶ



- ▶ ボタン→内容を選ぶ



ストロボの調光量を補正する



マイナス側に補正 プラス側に補正

ストロボ撮影時の露出を露出補正と同様に、1/3段ずつ、-2段から+2段の範囲で補正できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

ストロボを上げる

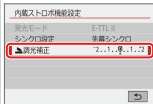


3

設定する



- [閃光補正] ボタン → [閃光] ボタン → MENU ボタン



- [閃光補正]





ストロボの調光量を補正する



マイナス側に補正 プラス側に補正

ストロボ撮影時の露出を露出補正と同様に、1/3 段ずつ、- 2 段から + 2 段の範囲で補正できます。



- 調整する。



FE ロックで撮る



FE ロック



FE ロック未使用
(露出オーバー)

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影と同様に固定できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

ストロボを上げる



3

ストロボモードを選ぶ



- [] ボタン → []

4

ストロボ露出を固定する



- [*] が表示され、露出が固定されます。





FE ロックで撮る



FE ロック



FE ロック未使用
(露出オーバー)

ストロボ撮影時の露出を、AE ロック撮影と同様に固定できます。

5

構図を決めて撮影する





ストロボ発光のタイミングを変える



先幕で発光



後幕で発光

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



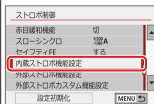
- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ 1] → [ストロボ制御]



- [内蔵ストロボ機能設定]





ストロボ発光のタイミングを変える



先幕で発光



後幕で発光

ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



- [シンクロ設定]
→ 内容を選ぶ



調光方式を変える



評価調光



平均調光

ストロボ撮影時、標準的なストロボ露出が得られる [評価調光] で調光されますが、外部調光ストロボのように測光領域全体を平均的に測光するように調光方式を変えることもできます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ 1] → [ストロボ制御]



- [E-TTL II 調光方式] → [平均調光]



ストロボの発光量を設定する



発光量：小

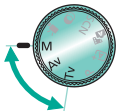


発光量：大

Tv/**Av**/**M**モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。

1

撮影モードを選ぶ



- **Tv**/**Av**/**M**モード → ボタン

2

メニューを表示する



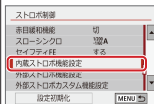
- **MENU**ボタン → → ボタン

3

設定する



- [1] → [ストロボ制御]



- [内蔵ストロボ機能設定]





ストロボの発光量を設定する



発光量：小



発光量：大

Tv/**Av**/**M**モードでは、ストロボの発光量を 3 段階から選べます。



- [発光モード] → [マニュアル発光]



- [発光量] → 内容を選ぶ



撮る

シャッタースピードや絞りを決めて撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



シャッタースピードを決めて撮る (Tv モード)



絞り数値を決めて撮る (Av モード)



シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (M モード)



長時間露光 (バルブ) 撮影



シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る



シャッタースピードを決めて撮る (Tv モード)



遅い



速い

シャッタースピードを設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。

1

撮影モードを選ぶ



● Tvモード →
SET ボタン

2

シャッタースピードを設定する



●  ダイヤル

3

撮影する





絞り数値を決めて撮る (Avモード)



小

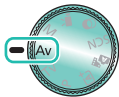


大

絞り数値を設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。

1

撮影モードを選ぶ



- Avモード →
Avボタン

2

絞り数値を設定する



-  ダイヤル

3

撮影する





シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (Mモード)



シャッタースピード、絞り数値、ISO感度を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



- Mモード → [SET] ボタン

2

ISO感度を設定する



- [ISO AUTO] をタッチ → [左] / [右] ボタン

3

シャッタースピードと絞り数値を設定する



- シャッタースピードの設定：
[歯車] ダイヤル
- 絞り数値の設定：
[上] ボタン → [歯車] ダイヤル





シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る (Mモード)



シャッタースピード、絞り数値、ISO感度を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。

4

撮影する





長時間露光（バルブ）撮影




バルブ撮影は、シャッターボタンを全押ししている間だけ露光を行う機能です。

1

撮影モードを選ぶ



● **M**モード →  ボタン

2

設定する



●  ダイアル →
[BULB]

3

撮影する





シャッタースピードと絞り数値を決めて 動画を撮る



マニュアル動画

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



- 動画モード → [SET] ボタン → [M] ボタン → [SET] ボタン

2

ISO 感度を設定する



- [ISO AUTO] をタッチ

3

シャッタースピードと絞り数値を設定する





シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る






マニュアル動画

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。

4

撮影をはじめめる



- シャッタースピードの設定：
 ダイヤル
- 絞り数値の設定：
 ボタン →  ダイヤル



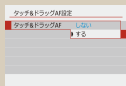


撮る

カメラをカスタマイズする



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



タッチ&ドラッグ AF の機能を設定する



カメラの詳細機能を設定する



ボタンに機能を登録する



タッチ&ドラッグ AF の機能を設定する



タッチ&ドラッグ AF を設定すると、ファインダーを見ながら画面をタッチしたりドラッグしたりして AF フレームを移動することができます。

1

撮影モードを選ぶ



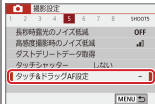
- Pモード → [MENU] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [MENU] ボタン



- [カメラ] → [タッチ & ドラッグ AF 設定]



- [タッチ & ドラッグ AF] → [する]



カメラの詳細機能を設定する



MENUの[**5**]では、撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更されます。
また、よく使う機能をボタンに登録することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- **P**モード → **SET** ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU** ボタン → **[5]** → **SET** ボタン

3

設定する



- **[5]** → **[カスタム機能 (C.Fn)]** → 項目を選ぶ




- 機能を選ぶ。

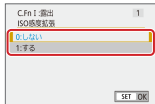




カメラの詳細機能を設定する



MENUの【5】では、撮影スタイルに応じて、カメラの機能を細かく変更されます。
また、よく使う機能をボタンに登録することができます。



- 内容を選ぶ。



ボタンに機能を登録する



シャッターボタンなどの操作ボタンの機能を変えたり、M-Fnボタンによく使う機能を登録することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [SET] ボタン



- [SET] → [カスタム機能 (C.Fn)] → [操作ボタン カスタマイズ]





ボタンに機能を登録する



シャッターボタンなどの操作ボタンの機能を変えたり、M-Fnボタンによく使う機能を登録することができます。

3

登録先を選ぶ



- 登録するボタンやダイヤルを選ぶ。

4

登録する機能を選ぶ





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



動画を撮る



明るさを固定して動画を撮る



明るさを変えて動画を撮る



オートスローシャッターを使わない



タイムラプス動画を撮る



ミニチュア模型のような動画を撮る (ジオラマ風動画)





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



録音レベル (録音音量)
を設定する



ウィンドカットを
使わない



アッテネーターを使う



動画の手ブレを補正する



動画を撮る





📹モードでは、いろいろな効果や機能を使用して、動画を撮影できます。

1

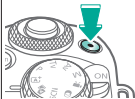
撮影モードを選ぶ



- 📹モード →  ボタン → 目的のモードを選ぶ →  ボタン

2

撮影をはじめる



3

撮影を終える





明るさを固定して動画を撮る



撮影中に露出を固定できます。

1

撮影モードを選ぶ



- [video mode] モード → [SET] ボタン → [video mode] ボタン → [SET] ボタン

2

露出を固定する



- [A*] が表示され、露出が固定されます。

3

撮影をはじめる





明るさを変えて動画を撮る



マイナス側に
補正



プラス側に
補正

自動露出のときは、 -3 段から $+3$ 段の範囲で露出が変えられます。

1

撮影モードを選ぶ



- モード → ボタン → 目的のモードを選ぶ → ボタン

2

露出を変える



- 露出の設定：▲ ボタン → ダイヤル

3

撮影をはじめめる





オートスローシャッターを使わない



ぎこちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなる場合があります。

1

撮影モードを選ぶ



- モード → ボタン → 目的のモードを選ぶ → ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → → ボタン

3

設定する



- [5] → オートスローシャッター]





オートスローシャッターを使わない



ぎこちない動きの画像になったときに、オートスローシャッターを使わないようにできます。ただし、暗いシーンを撮影しているときは、画像が暗くなる場合があります。



- [A-SLOW OFF]



タイムラプス動画を撮る






一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

1

撮影モードを選ぶ





-  モード →  ボタン → 目的のモードを選ぶ →  ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU**ボタン →  →  ボタン





タイムラプス動画を撮る



一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

3

設定する



- [カメラ 1] → [タイムラプス動画]



- [タイムラプス撮影] → シーンを選ぶ → 目的の内容を選び設定する

4

撮影画面に戻る





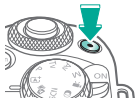
タイムラプス動画を撮る



一定間隔で撮影した静止画をつなげることで1つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。

5

カメラを固定して撮影する





ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）






 ジオラマ風動画

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて動画を撮影できます。

1

撮影モードを選ぶ



-  モード →  ボタン → 目的のモードを選ぶ →  ボタン

2


設定画面を表示する



3

設定する



-  OFF → 内容を選ぶ





ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）

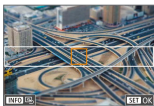


ジオラマ風動画

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて動画を撮影できます。



- 枠の移動：
[AF] ボタン
→▲/▼ボタン



- AF フレームの移動：
[AF] ボタン
→▲/▼/◀▶
ボタン



ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）



 ジオラマ風動画

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて動画を撮影できます。

4

撮影画面に戻る



5

撮影をはじめ





録音レベル（録音音量）を設定する



録音の音量を
変える

録音の設定が「オート」のときは、撮影時に自動で録音レベル調整（録音音量）がされます。撮影シーンにあわせ手動で調整したいときは設定を「マニュアル」に変更します。

1

撮影モードを選ぶ



- 撮影モード → MENU ボタン → 目的のモードを選ぶ → MENU ボタン

2

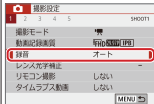
メニューを表示する



- MENU ボタン → [カメラ] → MENU ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [録音]



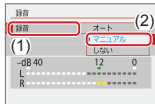


録音レベル（録音音量）を設定する



録音の音量を
変える

録音の設定が [オート] のときは、撮影時に自動で録音レベル調整（録音音量）がされます。撮影シーンにあわせ手動で調整したいときは設定を [マニュアル] に変更します。



- [録音] → [マニュアル]



- [録音レベル]
→ ◀▶ ボタン



ウィンドカットを使わない






ウィンドカットは、風が強い場所で撮影するとき、風音の影響を低減し雑音をおさえる機能です。風がない場所で撮影したときに不自然な音になることがあります。このときは[ウィンドカット]の設定を[切]に変更します。

1

撮影モードを選ぶ



-  モード →  ボタン → 目的のモードを選ぶ →  ボタン

2

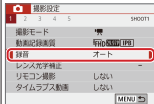
メニューを表示する




- **MENU** ボタン →  →  ボタン

3

設定する



-  [1] → [録音]





ウィンドカットを使わない



ウィンドカットは、風が強い場所で撮影するときに、風音の影響を低減し雑音をおさえる機能です。風がない場所で撮影したときに不自然な音になることがあります。このときは[ウィンドカット]の設定を[切]に変更します。



- [ウィンドカット/アッテネーター]



- [ウィンドカット] → [切]



アッテネーターを使う






大音響の環境で
撮影

アッテネーターは、大音響で撮影するとき、大きすぎる音をおさえて録音音が音割れしないようにする機能です。アッテネーターの設定には、撮影シーンに応じて自動でオン・オフをする [オート]、[入]、[切] の3種類があります。

1

撮影モードを選ぶ



-  モード → 
ボタン → 目的の
モードを選ぶ
→  ボタン

2

メニューを表示
する




- **MENU** ボタン →
 →  ボタン

3

設定する



-  1 → [録音]





アッテネーターを使う

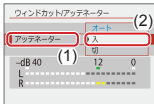


大音響の環境で
撮影

アッテネーターは、大音響で撮影するときに、大きすぎる音をおさえて録音音が音割れしないようにする機能です。アッテネーターの設定には、撮影シーンに応じて自動でオン・オフをする [オート]、[入]、[切] の3種類があります。



- [ウィンドカット/アッテネーター]



- [アッテネーター] → [入]



動画の手ブレを補正する



する



しない

動画撮影時の手ブレを、カメラの手ブレ補正機能で補正します。手ブレ補正機能がないレンズを装着していても手ブレ補正することができます。

1

撮影モードを選ぶ



- 動画モード → [SET] ボタン → 目的のモードを選ぶ → [SET] ボタン

2

メニューを表示する



- MENU ボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

3

設定する



- [カメラ] 5 → [手ブレ補正設定]





動画の手ブレを補正する

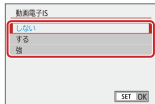


する



しない

動画撮影時の手ブレを、カメラの手ブレ補正機能で補正します。手ブレ補正機能がないレンズを装着していても手ブレ補正することができます。



- [動画電子 IS] → 内容を選ぶ



撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



連続して撮る



セルフタイマーを使う



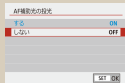
画面をタッチして撮る
(タッチシャッター)



記録画質を変える



RAW 画像を記録する



AF 補助光 (ランプ) が
光らないようにする





撮る



カメラまかせで撮る	いろいろなシーンで撮る (スペシャルシーン)	効果をつけて撮る (クリエイティブアシスト)
効果をつけて撮る (クリエイティブフィルター)	カメラを設定して撮る	動画用のモードで動画を撮る
便利な機能		



縦横比 (アスペクト比)
を変える



動画の記録サイズを
変える



自動水平補正を使う



連続して撮る




シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

1

撮影モードを選ぶ



● Pモード →  ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



●  (Off) → 

4

撮影する



● 全押しし続ける。



セルフタイマーを使う



シャッターボタンを全押ししてから約 10 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写るときなどに使います。

1

撮影モードを選ぶ



● Pモード → [SET] ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



● [OFF] → [10]

4

撮影する





画面をタッチして撮る（タッチシャッター）



シャッターボタンを押す代わりに、画面をタッチして撮影します。
被写体にピントと明るさを合わせ、かんたんに撮影することができます。

1

設定する



- [OFF] をタッチして [ON] にする。

2

撮影する





記録画質を変える



	2400万画素／高画質		約 1060万画素／高画質		約 590万画素／高画質		約 380万画素／標準画質
	2400万画素／標準画質		約 1060万画素／標準画質		約 590万画素／標準画質		

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- → 内容を選ぶ



RAW 画像を記録する



このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。

RAW 画像とは、JPEG 画像を作り出す前の「生データ」のことです。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- → JPEG の記録画質を選ぶ → **INFO** ボタン



- RAW の記録方法を選ぶ。



AF 補助光（ランプ）が光らないようにする



暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯しないようにすることができます。

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → [MENU] ボタン

2

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [MENU] ボタン

3

設定する



- [カメラ] → [AF 補助光の投光]



- [しない]



縦横比（アスペクト比）を変える



3:2



4:3



16:9



1:1

1

撮影モードを選ぶ



- Pモード → SET ボタン

2

設定画面を表示する



3

項目を選ぶ



- [3:2] → 内容を選ぶ



動画の記録サイズを変える



動画の記録サイズを設定できます。フレームレートとは1秒間に何コマ記録するかのことです、ビデオ方式の設定にあわせて選択できる項目が変わります。

1

撮影モードを選ぶ



- 動画モード → [SET] ボタン → 目的のモードを選ぶ → [SET] ボタン

2

設定画面を表示する



3

設定する



- [29.97P] → 内容を選ぶ



自動水平補正を使う



動画を撮影するときに、画面を水平に保つように補正します。

1

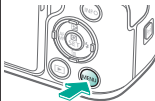
撮影モードを選ぶ



- モード → ボタン → 目的のモードを選ぶ → ボタン

2

メニューを表示する



- **MENU** ボタン → → ボタン

3

設定する



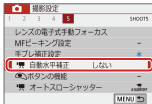


自動水平補正を使う



動画を撮影するときに、画面を水平に保つように補正します。

- [カメラ 5] → [手ブレ補正設定] → [手ブレ補正] → [切]



- [カメラ 5] → [自動水平補正]



- [する]



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



静止画を見る



拡大して見る



スライドショーで見る



動画を見る



短編動画 (ダイジェスト動画) を見る



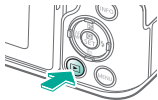
静止画を見る



撮影した静止画を画面で見ることができます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ





拡大して見る



画像を拡大して見ることができます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

拡大／縮小して
表示する



- 拡大する：
*ボタン
- さらに拡大：
*ボタンを押し
続ける。
- 1枚表示にする：
▶ボタン





拡大して見る



画像を拡大して見ることができます。



- 縮小する：
[Zoom In] ボタン
- さらに縮小：
[Zoom In] ボタンを押し続ける。

4

表示位置を移動する



- 移動する：
▲/▼/◀/▶ ボタン
- 1枚表示にする：
[Play] ボタン



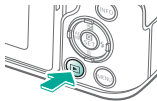
スライドショーで見る



カードに記録されている画像を自動的に再生します。

1

再生表示にする



2

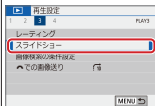
メニューを表示する



● MENUボタン →
[▶] → [SET]ボタン

3

設定する



● [▶] 3 → [スライドショー]



● [スタート]



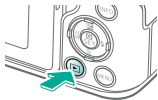
動画を見る



撮影した動画を画面で見ることができます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

動画を再生する



●動画は、
[▶] が表示されます。

●▲ボタン：動画再生パネルを表示





動画を見る



撮影した動画を画面で見ることができます。

4

音量を調整する

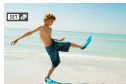


● ◀▶ ボタンで
▶▶

- 音量を上げる：
▲ ボタン
- 音量を下げる：
▼ ボタン



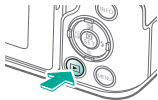
短編動画（ダイジェスト動画）を見る



Aモードで静止画を撮影すると短編動画（ダイジェスト動画）が作成されます。ダイジェスト動画は、作成された日にちごとに再生されます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



- ダイジェスト動画は、**[SET]** が表示されます。

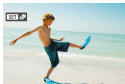
3

動画を再生する





短編動画（ダイジェスト動画）を見る



Aモードで静止画を撮影すると短編動画（ダイジェスト動画）が作成されます。ダイジェスト動画は、作成された日にちごとに再生されます。

4

音量を調整する



- 音量を上げる：
▲ボタン
- 音量を下げる：
▼ボタン



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



一覧表示 (インデックス表示) で探す



指定した条件で画像を探す



電子ダイヤルで画像を探す



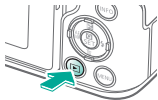
一覧表示（インデックス表示）で探す



複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。

1



再生表示にする



2

一覧表示にする



- 複数画像を一覧表示：ボタン
- 表示画像数を増やす：ボタンを何度も押す。

3

画像を探す



-  /  /  /  ボタン



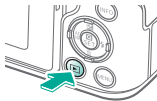
指定した条件で画像を探す



カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

1

再生表示にする



2

設定画面を表示する



3

画像を探す





指定した条件で画像を探す



カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

- ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ →
- ◀▶ ボタンで内容を選ぶ



- 黄色の枠つきで表示されます。



電子ダイヤルで画像を探す



電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。

1

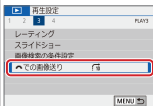
メニューを表示する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

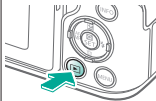
検索条件を指定する



- [] 3 → [] への画像送り

3

再生表示にする



- 内容を選ぶ。





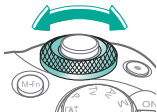
電子ダイヤルで画像を探す



電子ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。

4

画像を探す





再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



1 枚ずつ保護する (プロテクト)



まとめて保護する (プロテクト)



お気に入り設定をする (レーティング)



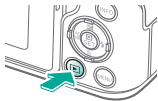
1 枚ずつ保護する（プロテクト）



大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、画像を1枚ずつ保護することができます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

保護する



● [OVL] → [する]



まとめて保護する（プロテクト）



画像の保護は、設定画面の [🔑] で行う方法と、
[▶] メニューの [画像プロテクト] で行う方法があります。
[画像プロテクト] では、画像・範囲・フォルダ・カード
に対して保護を設定できます。

1

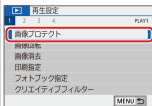
メニューを表示
する



- MENUボタン → [▶] → [SET] ボタン

2

設定する



- [▶] 1] → [画像プロテクト]



- 指定方法を選ぶ。



- 画像を選択：画像を選ぶ → [SET] ボタン





まとめて保護する（プロテクト）



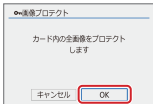
画像の保護は、設定画面の [🔑] で行う方法と、
[▶] メニューの [画像プロテクト] で行う方法があります。
[画像プロテクト] では、画像・範囲・フォルダ・カード
に対して保護を設定できます。



- 範囲指定：始点画像を選ぶ→終点画像を選ぶ



- フォルダ内・全画像：フォルダを選ぶ→ [OK]



- カード内・全画像：[OK]



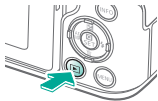
お気に入り設定をする（レーティング）



6段階でお気に入りのレベル（レーティング）を設定して、撮影した画像を分類できます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

設定する



- [★] → 内容を選ぶ



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



1 枚ずつ消す



まとめて消す



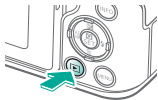
1 枚ずつ消す



不要な画像を 1 枚ずつ選んで消せます。消した画像は元に戻せないので十分に確認してから消してください。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

消す



● [消去]



まとめて消す



画像を選んで、まとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないのので十分に確認してから消してください。

1

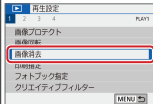
メニューを表示する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

設定する



- [] 1 → [画像消去]



- 指定方法を選ぶ。





まとめて消す



画像を選んで、まとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないのので十分に確認してから消してください。

- ◀
- 選択して消去：画像を選ぶ
→ **MENU**ボタン
→ [OK]



- 範囲指定：始点画像を選ぶ→終点画像を選ぶ
→ **MENU**ボタン
→ [OK]



- ▶
- フォルダ内・全画像：フォルダを選ぶ→ [OK]



まとめて消す



画像を選んで、まとめて消すことができます。消した画像は元に戻せないのので十分に確認してから消してください。



- カード内・全画像：[OK]



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



画像にフィルター効果をつける
(クリエイティブフィルター)



画像を回転する



赤目を補正する



画像を切り抜く (トリミング)



画像を小さくする (リサイズ)



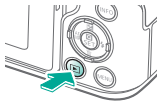
画像にフィルター効果をつける（クリエイティブフィルター）



[/////] モードで撮影したときと同じような効果をつけて、別画像として保存できます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

設定する



- [] → 内容を選ぶ





画像にフィルター効果をつける（クリエイティブフィルター）



[/////] モードで撮影したときと同じような効果をつけて、別画像として保存できます。

5

保存する



- 効果の強さを選ぶ： ボタン



- ボタン → [OK]



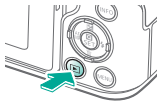
画像を回転する



画像の向きを変えて保存することができます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

回転する



- [Q] を選ぶ→内容を選ぶ



赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。

1

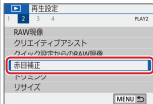
メニューを表示する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

赤目補正する



- [] 2 → [赤目補正]



- 画像を選ぶ：
◀▶ボタン
- 補正する：
[]ボタン





赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。

3

保存する



- [OK]



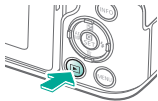
画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

トリミングする



● [トリミング]





画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



- 項目の移動：
⚙️ ダイヤル

- 枠のサイズと位置、傾き補正、アスペクト比を設定する。
- 枠のサイズ変更
縮小：✖️ ボタン
拡大：⏏️ ボタン

- 枠の位置移動：
▲ / ▼ / ◀️ / ▶️ ボタン



- 傾き補正：[傾き補正] → ⚙️ ダイヤル



画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



- アスペクト比変更：
[[↔]] → [SET] ボタン



- イメージ確認：
[[↔]] → [SET] ボタン



- 新規保存：[[📁]]
→ [SET] ボタン → [OK]



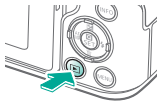
画像を小さくする（リサイズ）



撮影した画像の画素数を少なくして、別画像として保存できます。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

リサイズする



- [OK] → 内容を選ぶ → [SET] ボタン → [OK]



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)



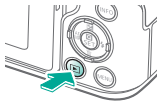
好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)



RAW 画像から、好みの効果をつけた JPEG 画像を新規に作成できます。

1

再生表示にする



2

RAW 画像を選ぶ



3

設定画面を表示する



4

項目を選ぶ



● [🔄]





好みの効果をつける（クリエイティブアシスト）



RAW 画像から、好みの効果をつけた JPEG 画像を新規に作成できます。

5

設定する



- ◀▶ ボタンで項目を選ぶ。



- ◀▶ ボタンで設定する。

6

保存する



- [OK] ボタン → [OK]



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける（クリエイティブアシスト）
RAW 画像をカメラで 現像する	動画を編集する	



RAW 画像を現像する



RAW 画像を現像する



RAW で撮影した画像をカメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。
モードダイヤルが **P/Tv/Av/M** / **⦿** モードになっているときにのみ設定できます。

1

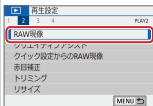
メニューを表示する



- **MENU** ボタン → → ボタン

2

設定する



- [2] → [RAW 現像]



- 指定方法を選ぶ。



- 画像を選ぶ → → **MENU** ボタン





RAW 画像を現像する



RAW で撮影した画像をカメラで現像処理することができます。RAW 画像は残したまま、JPEG 画像として保存されます。
モードダイヤルが **P/Tv/Av/M/☰** モードになっているときにのみ設定できます。

3

確認する



- [撮影時の設定で現像] → [OK]



- [保存した画像]



再生する



見る	探す	管理する
消す	静止画を編集する	好みの効果をつける (クリエイティブアシスト)
RAW 画像をカメラで現像する	動画を編集する	



動画の前後を削除する



ファイルサイズを小さくする



ダイジェスト動画を編集する



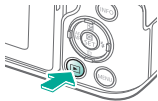
動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。

1

再生表示にする



2

動画を選ぶ



● 動画を選ぶ → ▲
ボタン

3

動画を編集する



● 動画再生パネル
→ [✂]

4

削除範囲を設定する





動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。

- 前部を削除：
[✂]
- 後部を削除：
[✂]



- [◀▶] ボタン → 削除範囲を決める
→ [SET] ボタン

5

確認する



- [▶] ボタン

6

保存する



- [保存] → 内容を選ぶ



動画の前後を削除する



撮影した動画の前後を削除できます。ただし、ダイジェスト動画の前後は、削除できません。



- 内容を選ぶ。

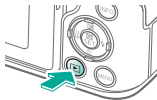


ファイルサイズを小さくする



動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。

1
再生表示にする



2
動画を選ぶ



- 動画を選ぶ → ▲
ボタン

3
動画を編集する



- 動画再生パネル
→ [] → []

4
保存する



- [新規保存]





ファイルサイズを小さくする



動画を圧縮して保存することで、ファイルサイズを小さくできます。



- [圧縮して保存]



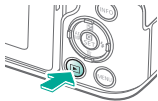
ダイジェスト動画を編集する



Aモードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

1

再生表示にする



2

画像を選ぶ



- ダイジェスト動画は、**[SET]** が表示されます。





ダイジェスト動画を編集する



Aモードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

3

設定画面を表示する



4

再生してから一時停止する



- [カメラ] → [SET] ボタン → 再生中に [SET] ボタン

5

チャプターを選ぶ



- [] / []

6

[] を選ぶ



- []



ダイジェスト動画を編集する



Aモードで作成されたチャプターを1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。

7

消す



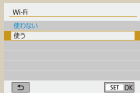
- [OK]



無線機能



無線機能でできること



無線機能の準備をする



Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



NFC 対応の Android スマートフォンと Wi-Fi 接続する



Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



無線機能でできること



スマートフォンへの接続

スマートフォンやタブレットに Wi-Fi 接続して、専用アプリケーション「Camera Connect (カメラコネクト)」を使ってカメラをリモート操作したり、カメラ内の画像を見ることができます。

また、Bluetooth^{®*} と Wi-Fi 接続を併用したときは、位置情報の付加などを行うことができます。

*Bluetooth low energy technology (以降は「Bluetooth」と記載)

パソコンへの接続

パソコンに Wi-Fi 接続して、EOS 用ソフトウェアの EOS Utility を使ってカメラをリモート操作することができます。また、Image Transfer Utility 2 を使って、カメラの画像をパソコンに自動転送することができます。

プリンターへの接続

Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターに Wi-Fi 接続して、画像を印刷することができます。



無線機能でできること



Web サービスへの接続

キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービス CANON iMAGE GATEWAY（登録無料）を通じて、家族や友人との画像共有や、さまざまな Web サービスを利用した画像共有を行うことができます。



無線機能の準備をする

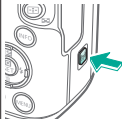


1

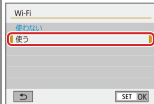
電源を入れる

2

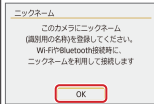
Wi-Fi の設定をする



● (Wi-Fi) ボタン



● [Wi-Fi] → [使う]



● (OK) ボタン





無線機能の準備をする



3

Wi-Fi の設定を
終了する



- **MENU**ボタン→
[OK]



- ((P))ボタンを押し
て上記の画面を
消す。

4

Camera
Connect をイ
ンストールする



- App Store /
Google Play
から Camera
Connect をダウ
ンロードし、イン
ストールする。





Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



1

準備する



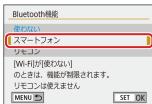
- 「無線機能の準備をする」を参照（準備済みのときは次の手順へ）。

2

スマートフォンとペアリングする



- **MENU**ボタン → [👉] → [👉 1] → [無線通信の設定]



- [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [スマートフォン] → [SET] ボタン



- [ペアリング] → [表示しない]





Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



- スマートフォンの Bluetooth 機能を ON にして、Camera Connect を起動する。

- ペアリングするカメラのニックネームをタッチする。
- iOS のときは、さらに [ペアリング] をタッチする。

3

カメラを操作してペアリングする

- 接続確認画面で [OK] を選ぶ。
- 接続完了画面で (SET) ボタンを押す。

4

Wi-Fi 接続して Camera Connect を操作する





Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



Android のとき



- [Bluetooth リモートコントローラー] 以外の機能を選ぶ。
- Wi-Fi 接続が完了すると、選んだ機能の画面が表示されます。

iOS のとき



- [Bluetooth リモートコントローラー] 以外の機能を選ぶ。

- スマートフォンに表示されている案内にしたがって、パスワードをコピーする枠にタッチする。
- 表示される Wi-Fi 機能の画面から、接続するカメラの SSID を選ぶ。

- パスワード欄をタッチして、パスワードをペーストして接続する。
- Camera Connect 画面を表示する。
- しばらくすると Wi-Fi 接続が完了して、スマートフォンに選んだ機能の画面が表示されます。



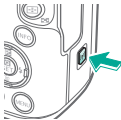


Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



5

接続を切る



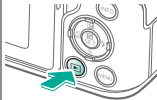
- ((P))ボタン → [切断して終了] → [OK]

再接続する方法



- Camera Connect の画面で、行いたい操作にタッチすると再接続されます。

画像を再生して送る方法



- 画像を再生して ((P))ボタンを押す。



- [] → ((SET))ボタン → ((SET))ボタン





Bluetooth 対応のスマートフォンと Wi-Fi 接続する



- 表示される画面で送信条件と画像を選んで送信する。





NFC 対応の Android スマートフォンと Wi-Fi 接続する



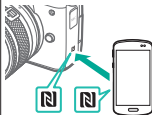
1

準備する

- 「無線機能の準備をする」を参照（準備済みのときは次の手順へ）。

2

接続する



- **N** マーク同士をタッチする。
- スマートフォンで Camera Connect が起動し、カメラと自動で接続します。

3

Wi-Fi 接続を確立する



- [OK] → ボタン
- カメラのモニターに [Wi-Fi 動作中] の画面が表示されます。

4

Camera Connect を使う



- Camera Connect を操作して、カメラ内の画像を閲覧／保存したり、リモート撮影などを行う。



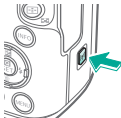


NFC 対応の Android スマートフォンと Wi-Fi 接続する



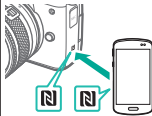
5

接続を切る



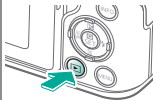
- [Wi-Fi 動作中] の画面が表示されていないときは、(Wi-Fi) ボタン → [切断して終了] → [OK]

再接続する方法

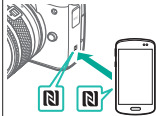


- カメラとスマートフォンの電源を入れて、N マーク同士をタッチする。
- 接続されたら Camera Connect を操作する。

画像を再生して送る方法



- 画像を再生して (再生) ボタンを押す。




- N マーク同士をタッチする。





NFC 対応の Android スマートフォンと Wi-Fi 接続する



- 接続されたら  ボタンを押して、表示される画面で送信条件と画像を選んで送信する。





Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



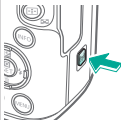
1

準備する

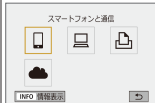
- 「無線機能の準備をする」を参照（準備済みのときは次の手順へ）。

2

Wi-Fi 接続する



- (Wi-Fi) ボタン



- [スマートフォン] → [SET] ボタン

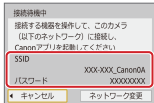


- [接続先の機器の登録] → [表示しない] → [SET] ボタン





Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する




- SSID とパスワードを確認する。



- スマートフォンを操作して、Wi-Fi ネットワークを検索し、カメラの SSID を選ぶ。

- カメラに表示されているパスワードを、スマートフォンに入力する。
- Wi-Fi で接続できたことを確認したら、Camera Connect を起動して、接続するカメラを選ぶ。



- カメラで [OK] →  ボタンを押す



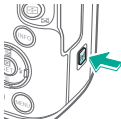


Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



3

接続を切る



- ((P))ボタン → [切断して終了] → [OK]

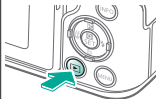
再接続する方法



- Camera Connect を起動する。
- [かんたん接続ガイド] にタッチして、接続するカメラを選ぶ。

- 表示されるガイドのとおり操作して接続する。

画像を再生して送る方法



- 画像を再生して ((SET)) ボタンを押す。

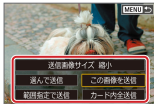




Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する



-  →  ボタン
→  ボタン



- 表示される画面で送信条件と画像を選んで送信する。





その他の設定をする



画面の表示レベルを変更する



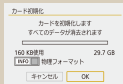
フォルダを選択／作成する



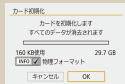
画像番号を変える



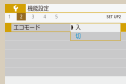
縦位置画像回転表示



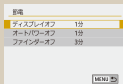
カードを初期化する



カードを物理フォーマット（初期化）する



エコモードを使う



節電機能の設定を変える



表示言語を変える

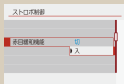




その他の設定をする



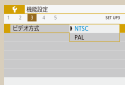
画面の明るさを変える



赤目緩和機能を使う



撮影直後の画像表示時間を変える



ビデオ方式を変える



撮影時の情報の表示内容を設定する



再生時の情報の表示内容を設定する



電子音を鳴らさない



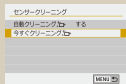
操作したときに音を鳴らさない



タッチパネルの設定を変える



その他の設定をする



撮像素子のクリーニング機能を動作させる



画像に記録する著作権の情報を登録する



撮像素子を手作業で清掃する



登録した著作権情報をまとめて消す



カメラの設定を初期状態に戻す



認証マークを確認する



画面の表示レベルを変更する



レベルや好みにあわせて画面の表示方法を変えられます。また、撮影モードを変更したときや項目などを選んだときに画面に表示される説明を非表示にすることもできます。

1

メニューを表示する



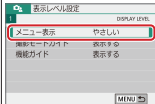
● MENUボタン

2

設定する



● [カメラ] → [SET]ボタン



● 項目を選ぶ→内容を選ぶ



フォルダを選択／作成する



画像を保存するフォルダを選択したり、新しく作成することができます。フォルダ選択画面で「フォルダ作成」を選ぶと、新しいフォルダを作成できます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [MENU] → [SET]ボタン

2

フォルダ選択画面を表示する



- [MENU] → [フォルダ選択]

3

設定する



- フォルダの選択：フォルダを選ぶ
- フォルダの作成：[フォルダ作成] → [OK]



画像番号を変える



撮影した画像には、撮影した順に 0001 ~ 9999 の番号がつけられ、1つのフォルダに 9999 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

設定する



- [] 1 → [画像番号]



- [オートリセット]



縦位置画像回転表示



カメラ再生やパソコン画面で見るときに、縦位置撮影の画像を縦のまま表示するか、縦横自動回転して大きく表示するかなどを設定します。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン → [F] → [SET] ボタン

2

設定する



- [F 1] → [縦位置
画像回転表示]



- 内容を選ぶ。



カードを初期化する



新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。初期化するとカード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。

1

メニューを表示する



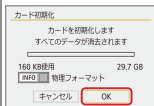
- MENUボタン → [MENU] → [SET]ボタン

2

設定する



- [MENU] → [カード初期化]



- [OK]



カードを物理フォーマット（初期化）する



カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときに行います。

物理フォーマットをすると、カード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。

1

メニューを表示する



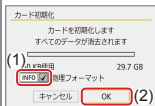
- **MENU**ボタン → [MENU] → [SET]ボタン

2

設定する



- [MENU] → [カード初期化]



- **INFO**ボタンで [✓] をつける → [OK]



エコモードを使う



撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに画面が暗くなり、消費電力がおさえられます。

1

メニューを表示
する



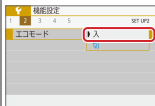
- MENUボタン →
[手] → [SET] ボタン

2

項目を選ぶ



- [手] 2] →
[エコモード]



- [入]



節電機能の設定を変える



カメラの電源が切れるまでの時間（オートパワーオフ）、画面が消えるまでの時間（ディスプレイオフ）やファインダーの表示が消えるまでの時間（ファインダーオフ）を変えることができます。

1

メニューを表示する



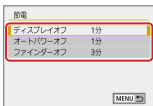
- MENUボタン → [] → []ボタン

2

設定する



- [] 2 → [節電]



- 項目を選ぶ。



- 内容を選ぶ。



表示言語を変える



画面に表示される言語を変えられます。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン →
[] → [] ボタン

2

項目を選ぶ



- [] 2 → [言語
]

3

設定する



- 言語を選ぶ → []
ボタン



画面の明るさを変える



ファインダーとモニターの画面の明るさを、それぞれ変えることができます。
ファインダーの画面の明るさは、ファインダー表示にしているときに設定できます。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン → [MENU] → [SET]ボタン

2

設定する



- [MENU] → [画面の明るさ]



- 明るくする：
▶ボタン
- 暗くする：
◀ボタン



赤目緩和機能を使う



暗いところでストロボ撮影する前に赤目緩和ランプを点灯させることで、人の目が赤く撮影されることを緩和することができます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [カメラ] → [SET] ボタン

2

設定する



- [カメラ] → [ストロボ制御]



- [赤目緩和機能]



- [入]



撮影直後の画像表示時間を変える



1

メニューを表示
する



- MENUボタン →
[カメラ] → [SET] ボタン

2

設定する



- [カメラ 1] → [撮影
画像の確認時間]



- 内容を選ぶ。



ビデオ方式を変える



テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質（フレームレート）も変わります。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン →
[] → []ボタン

2

設定する



- [] → [ビデオ方式]



- 内容を選ぶ。



撮影時の情報の表示内容を設定する



撮影画面にグリッドを表示できます。また、**INFO**ボタンを押したときに表示されるヒストグラムの種類を設定できます。

1

メニューを表示する



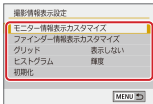
- **MENU**ボタン → [F4] → [SET]ボタン

2

設定する



- [F4] → [撮影情報表示設定]



- 項目を選ぶ。



- 内容を選ぶ → [OK]



再生時の情報の表示内容を設定する



再生表示で**INFO**ボタンを押すと、表示される撮影情報が切り換わります。表示させたい撮影情報を設定します。

1

メニューを表示
する



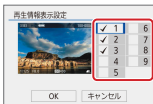
- **MENU**ボタン→
[▶] → [SET]ボタ
ン

2

設定する



- [▶ 4] → [再
生情報表示設定]



- 内容を選ぶ→
[OK]



電子音を鳴らさない



シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らさないようにできます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [手] → [SET]ボタン

2

設定する



- [手 3] → [電子音]



- [切]



操作したときに音を鳴らさない



カメラのボタンを押したり画面をタッチしたときに、音が鳴らないようにすることができます。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン →
[MENU] → [SET]ボタン

2

設定する



- [MENU] 3 → [電子音]



- [タッチ音切]



タッチパネルの設定を変える



タッチパネルの感度を上げて軽いタッチにも敏感に反応するようにできます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

設定する



- [] → [タッチ操作]



- [敏感]



撮像素子のクリーニング機能を動作させる



電源を入り切りしたときや節電機能で電源が切れたときには、撮像素子前面に付いたゴミを自動的に取り除くクリーニング機能が働きます。必要に応じてクリーニング機能を動作させることができます。

1

メニューを表示する



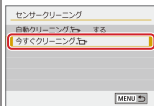
- MENUボタン → [MENU] → [SET] ボタン

2

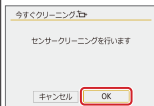
設定する



- [F3] → [センサークリーニング]



- [今すぐクリーニング]



- [OK]



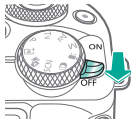
撮像素子を手作業で清掃する



撮像素子のクリーニング機能で取りきれないゴミやホコリがあったときに、市販品のブローアなどを使用して、自分で清掃できます。撮像素子は非常にデリケートな部品です。手作業での清掃が必要なときは、できるだけ修理受付窓口にお申し付けください。

1

電源を切る



2

レンズを外す



3

撮像素子を清掃する





カメラの設定を初期状態に戻す



P/Tv/Av/M/モードのときにカメラの設定を初期状態に戻すことができます。

[カスタム機能 (C.Fn) 一括解除] では、[操作ボタンカスタマイズ] 以外の設定を解除できます。

1

メニューを表示する



- **MENU**ボタン → [F] → [SET]ボタン

2

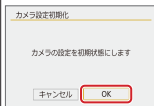
設定する



- [F 5] → [設定解除]



- [カメラ設定初期化]



- [OK]



画像に記録する著作権の情報を登録する



作成者名や著作権者名を登録しておくことで、撮影した画像に登録した情報を記録できます。

1

メニューを表示する



- MENUボタン → [] → [] ボタン

2

設定する



- [] 5 → [著作権情報]



- 項目を選ぶ。



- 名前を入力 → MENUボタン → [OK]



登録した著作権情報をまとめて消す



登録されている作成者名と著作権者名をまとめて消すことができます。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン → [F] → [SET]ボタン

2

設定する



- [F] 5 → [著作権情報]



- [著作権情報の消去] → [OK]



認証マークを確認する



このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。また、そのほかの認証マークは、本書やカメラ本体、カメラが入っていた箱にも表記されています。

1

メニューを表示
する



- MENUボタン → [] → []ボタン

2

確認する



- [] 5 → [] []



数字

1 点 AF 149

アルファベット

A

AEB 撮影 113

AE ロック 114

AF フレーム 149

Av (撮影モード) 172

C

Camera Connect 270

CANON iMAGE GATEWAY
268

F

FE ロック 163

H

HDR 絵画調標準 (撮影モード)
98, 101

HDR 逆光補正 (撮影モード) 87,
90

HDR グラフィック調 (撮影モード)
98, 101

HDR ビンテージ調 (撮影モード)
98, 102

HDR 油彩調 (撮影モード) 98,
102

I

ISO 感度 115



索引



M

- M-Fn ボタン 53, 182
- MF (手動ピント合わせ) 142
- MF ピーキング 147
- MWB 129
- M (撮影モード) 173

P

- P (撮影モード) 112

R

- RAW 211
- RAW 現像 256

T

- Tv (撮影モード) 171

かな

あ

- 赤目補正 246
- 圧縮率 210

い

- 色あい (ホワイトバランス) 128
- 色温度 132, 134
- 色収差補正 135
- 色の濃さ 124
- インデックス表示 227

う

- ウィンドカット 199



索引



え

エコモード 293

お

オートモード（撮影モード） 41

オートライティングオプティマイザ
118

お気に入り設定 236

音 302, 303

か

カード 23

階調優先 119

回転 245

顔 + 追尾優先 AF 149

拡大表示 219

各部のなまえ 52

画像

消去 238, 239

表示時間 298

画像番号 289

画像プロテクト 233, 234

カメラ

設定初期化 307

画面

表示言語 29

き

魚眼風（撮影モード） 98, 100

記録画素数（画像の大きさ） 210

近接撮影 89



索引



く

クイック設定画面

基本操作 68

タッチ操作 77

クリーニング（撮像素子） 305,
306

クリエイティブアシスト（撮影モード） 94

クリエイティブフィルター 243

グリッドライン 300

クローズアップ（撮影モード） 87,
89

け

消す 238, 239

検索 228

こ

高感度撮影時のノイズ低減 137

ゴミの写り込み防止 305, 306

さ

サーボ AF 154

サイレントモード（撮影モード）
87, 90

し

ジオラマ風（撮影モード） 103

ジオラマ風動画（撮影モード）
194

自分撮り（撮影モード） 87, 88

ジャンプ表示 230

充電 21

周辺光量補正 135



索引



白黒画像 98

す

水彩風（撮影モード） 98, 100

ズーム 42, 46

ストラップ 20

ストロボ

FE ロック 163

調光方式 167

調光補正 161

発光タイミング 165

発光量 168

モード 160

スポーツ（撮影モード） 87, 89

スマートフォンへの送信 272,

277, 280

スライドショー 221

せ

設定初期化 307

セルフタイマー

セルフタイマーを使う 208

センサークリーニング 305

そ

ゾーン AF 149

測光方式 117

ソフトフォーカス（撮影モード）
98, 100

た

タイムラプス動画（撮影モード）
191

タッチシャッター 209

縦横比を変える 213



索引



ち

調光補正 161

長時間露光 175

長秒時露光のノイズ低減 139

て

手ブレ補正 158

手持ち夜景（撮影モード） 87, 90

と

トイカメラ風（撮影モード） 98,
101

動画

画質（記録画素数／フレーム数）
214

編集 259, 262, 264

トリミング（画像の切り抜き）
248

な

流し撮り 91

の

ノイズ低減
高感度 137, 138
長秒時 139

は

バッテリー
エコモード 293
充電 21
バルブ撮影 175



索引



ひ

ピクチャースタイル 123, 124,
126

日付／時刻／エリア
設定 26

瞳 AF 152

美肌（撮影モード） 87, 88

表示言語 29

表示時間 298

ピント合わせ

AF フレーム 149

MF ピーキング 147

サーボ AF 154

ピント位置拡大 142

ふ

風景（撮影モード） 87, 88

フォーカスゾーン

マニュアルフォーカス 142

プラスムービーオート（撮影モード）
84

へ

編集

赤目補正 246

トリミング（画像の切り抜き）
248

リサイズ（画像を小さくする）
251

ほ

ポートレート（撮影モード） 87

保護 233, 234

ホワイトバランス（色あい） 128



索引



ま

マクロ撮影 89

マニュアルフォーカス 142

マニュアルホワイトバランス 129

マルチショットノイズ低減機能
138

マルチファンクションボタン 53,
182

み

見る

インデックス表示 227

拡大表示 219

画像の検索 228

ジャンプ表示 230

スライドショー 221

静止画 218

タッチ操作 81

短編動画 (ダイジェスト動画)
224

動画 222

む

無線機能 268

め

メニュー

基本操作 70

タッチ操作 79

ら

ラフモノクロ (撮影モード) 98

ランプ 75, 212, 297



り

- リサイズ (画像を小さくする)
251
- 料理 (撮影モード) 87, 89

れ

- レーティング 236
- レンズ
 - 取り付ける 30, 33
 - 取り外す 32, 34
 - ロック解除 32, 34

ろ

露出

- AE ロック 114
- FE ロック 163
- 補正 112



無線機能について



- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。
- 本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。
- 弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。
- 紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。





無線機能について



- 本書に記載している使用方法をお守りください。
- 本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。





商標、ライセンスについて



- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- N-Mark は米国およびその他の国における NFC Forum, Inc. の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。





商標、ライセンスについて



- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.





修理対応期間について



本製品の修理対応期間は、製品の製造打切り後 7 年間です。
なお、弊社の判断により修理対応として同一機種または同程度の仕様の製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の機種との交換の場合、ご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応 OS が変更になることがあります。



本書について



- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

Canon